

第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 27年 1月

応募者名: 沖縄県土木建築部

事業の名称: 国際通り線街路整備事業

実施都市名: 沖縄県 那覇市

事業目的

国際通り線は、那覇市の商業、行政、文化の中心地を通るシンボルロードであり、沿道建物を含めた景観向上方策、広幅員歩道の設置及び電線類の地中化など、県都のシンボルとして相応しい街路空間の整備を、沿道の商店街の協力のもと実施し、無電柱化を推進するとともに、歩道整備を実施し、安全で快適な歩行空間の形成を図るものである。

事業概要

事業名称：那覇広域都市計画道路事業国際通り線

路線名：国際通り線

事業箇所：那覇市久茂地3丁目～那覇市安里1丁目

事業延長：1,569m(約1マイル)

幅員：18m(2車線)

事業費：約80億円

事業実施期間：平成11年度～平成25年度

[歩行空間と車道空間の一体化]

・歩道の拡幅：歩道幅員を4.0mから4.75mに拡幅し、ゆとりある歩行空間の創出を図ります。

・バリアフリー：高齢者や身障者の方にも安心して楽しく歩きやすい道にするため、車道と歩道の段差を無くし、一体化を図ります。

・歩道舗装：沖縄著関わりの深い中国福建省の御影石を使用します。また、様々なデザインを施し、歩いて楽しい歩道を整備します。

・車道舗装：騒音が低減され、水溜まりができてにくい排水性舗装を使用するため、雨降りでも車の水しぶきを気にすることない快適な道路になります。

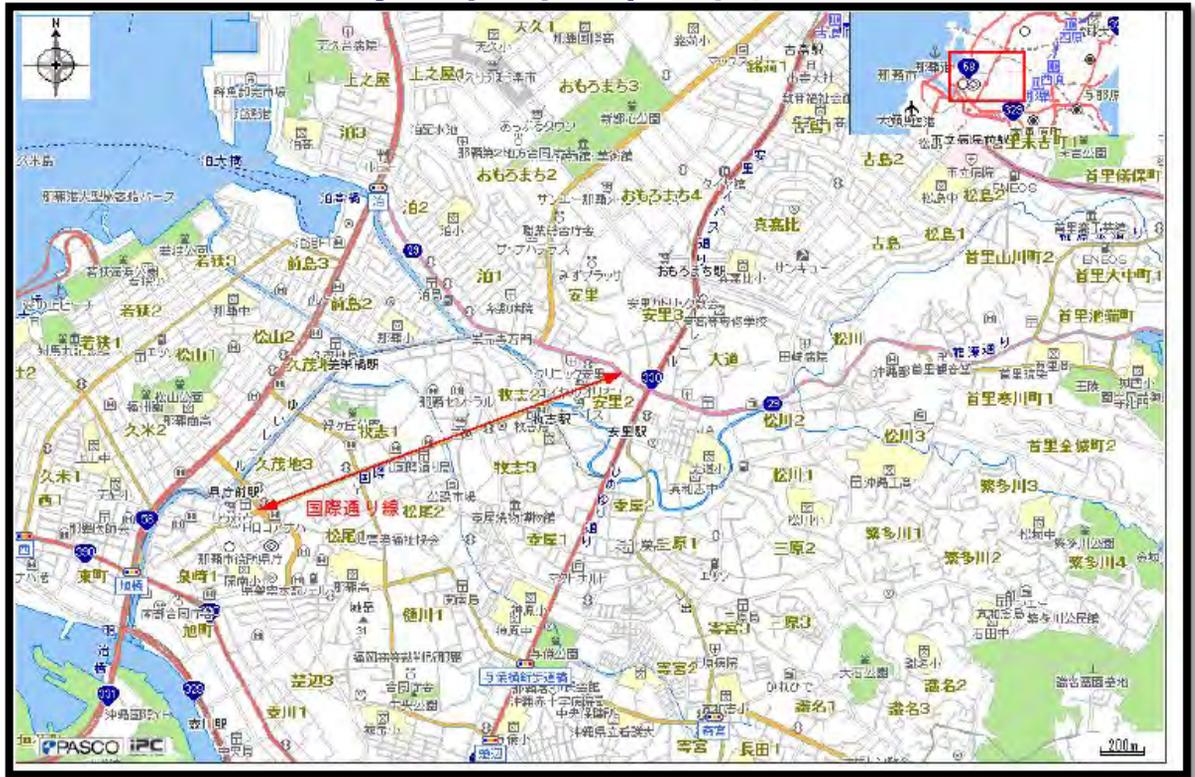
[電線類の地中化]

・安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の工場、防災性の向上などのため、歩道の下に電線共同溝を整備し、電線類の地中化を行います。

[ポケットパークの整備]

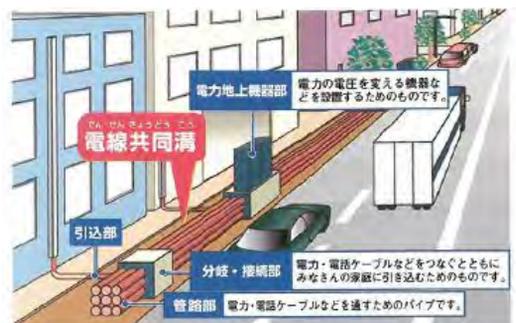
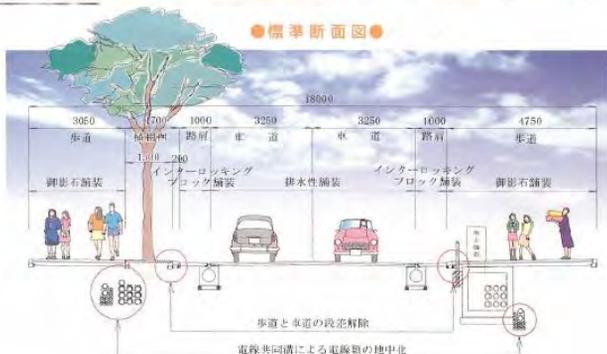
・歩道と一体となったポケットパークを整備し、憩いや賑わいを創出する空間を作ります。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)

事業区間 延長=1569m



事業前写真

平成14年頃撮影



事業後写真

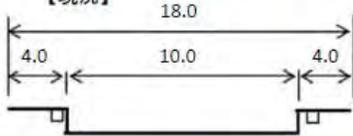
平成20年頃撮影



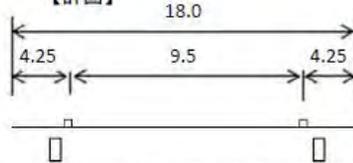
路線全体の進捗状況

都市計画道路3・4・20号国際通り線

【現況】



【計画】



国際ショッピングセンター解体/街路整備事業を導入/県・那覇市来年3月/ポケットパークに

1999年1月29日

Bl 0 ツイート 0 g+1 0

那覇市のメインストリート、国際通り(県道39号)にある国際ショッピングセンター(牧志在・総床面積1万7425平方メートル)が来年3月までに取り壊されることになった。

那覇市が街路整備事業として同センターを取り壊し、跡地は県のポケットパーク事業として整備される予定で、那覇市(親泊康晴市長)は既に物件調査に着手、急ピッチで物件補償交渉を進めていく。

1989年のバブル期に、民間の大手不動産会社が同センターの再開発事業のため物件補償に動いたことがあるが、とん挫したいきさつがある。国の緊急経済対策(第三次補正予算)により可能になったもので、同センターの取り壊し、跡地利用が県と市の公共事業により動き出した。那覇市は7月をめどに都市計画として決定する。事業費は総額で約50億円になる見込み。

那覇市は公共事業など国の社会資本整備資金で約16億5000万円の補助を受ける。2月補正予算で市の起債分4億円余を要求、2月定例会に上程する。県は99年度当初予算に計上する予定で同じく国から数十億円の補助を受ける見込み。現在、那覇市と調整を続けている。

緊急経済対策費で同センターを取り壊し、ポケットパークを整備することについて下地幹郎沖縄開発政務次官は「ショッピングセンターはシンナーなどを吸う若者、希望ヶ丘公園は浮浪者がたむろしている」と聞いている。観光沖縄のメインストリートに「廃墟」があるのは放置できない。街並みの活性化につながると思う」と話している。

那覇市市政ナビ

国際通りの電柱への感謝イベント

取材:2006年1月5日(木)午後5時～

場所:ホテルオーガストインクス茂地

国際通りの電線類の地中化に伴い、役割を終え撤去される電柱に感謝するイベントが、1月5日、ホテルオーガストインクス茂地で行われました。

電線類の地中化は県のシンボルロード事業の一環。式典には、県、市、商店街関係者が出席。久茂地小学校1年生による創作劇「電柱さんありがとう」が披露されたほか、戦後急速に発展し、「奇跡の一マイル」と呼ばれる国際通りに明かりをともし、電力を供給してきた電柱へ感謝し、国際通りのさらなる発展に決意を新たにしました。



子どもたちによる創作劇

鏡劇のセレモニーも行われました

琉球新報電子版

夏到来 太鼓響く 那覇で一万人のエイサー踊り隊

2014年8月4日

Bl 0 ツイート 14 g+1 0

第20回を迎えた2014年夏祭りin那覇「一万人のエイサー踊り隊」(同実行委員会主催)が3日、那覇市の国際通りで開かれた。路上を舞台に、エイサーなどの伝統芸能や創作舞踊が力いっぱい披露され、大勢の観客でにぎわった。青空の下、真夏の到来を告げる太鼓の音色が街に響いた。

飛び入り参加のにわかエイサー隊、地域の青年会など約30団体が参加し、安里のさいおんスクエアからパレットくもじまでの10カ所を移動しながら演舞した。

熱中症対策で、各演舞場では「国際通り冷やし隊」が打ち水をして歩き、暑さを和らげていた。



約30団体が参加し、迫力の演舞を披露した一万人のエイサー踊り隊=3日、那覇市内